



Shiro Oguchi

## 大口司郎 議員

3月定例会

質疑・討論

トピックス

一般質問

追跡

### Q・第4次総合計画・後期基本計画および都市計画マスタープランは

### A・これまで通りの姿勢を継続していく

**Q** 大型商業施設南側の広域交流拠点

は町内外から多くの人が集うところとして、町道の号線の計画が整備されつつある。すでに多くの農地が駐車場化されているが、今後どのように開発を進めていくのか。

**A** 産業建設部長  
都市計画マスタープランでは、中道地区を大規模集客施設にぎわいを創設するための支援施設やアクセス道路等の整備を立体的に行い、広域交流拠点の充実を計る。

現在進めている町道9号線の整備は、中道地区のアクセス道路に位置づけられている。この道路が出来る事により、既存の大規模集客施設と一体化した開発が期待できる。

**Q** 神明公園を核とする地域には、グ

ラウンド・プール・保育園また、養護老人ホーム・グループホーム等々の公共施設の建設を考えているか。

**A** 産業建設部長  
この地域は、先端産業誘致を検討しているのではないか。

**A** 産業建設部長  
神明公園周辺地域において、公共益的な土地利用について検討したことはない。土地利用構想の中で神明地域を先端産業振興拠点を誘導する地域としているが、現在のところ具体的な動きとなっていない。

**Q** 今後の開発行為は前向きに行うのか。

**A** 産業建設部長  
これまで以上に空港機能の変更に対応した土地利用を進めてきた。結果として旧国際線

ターミナルを大規模集客施設に、旧貨物ターミナルが新型旅客機最終組み立て工場になった。今後は都市計画マスタープランに基づく調和のとれた開発であれば、これまで通りの姿勢を継続していく。

### Q・障害者福祉サービスの訪問入浴は

### A・利用回数を検討する

**Q** 当町は他市町と比較すると訪問入浴の回数が少ないが、その理由と今後の対応について尋ねる。

平成19年4月からは地域生活支援事業として、サービスを行なっている。

**A** 生活福祉部長  
在宅入浴サービスは、平成13年から在宅障害者等入浴者派遣事業実施要綱に基づき、月2回以内として実施していた。

今後は県内自治体の実施状況及び利用者の要望等を確認し、利用回数を検討する。



▲開発が待たれる神明公園周辺